

町村週報

(町村の購読料は会費
の中に含まれております)

2349号

毎週月曜日発行

発行所 **全国町村会** 〒100 0014 東京都千代田区永田町 1 丁目11番35号 : 電話03 3581 0486番 FAX03 3580 5955
発行人 渡辺 明 : 定価 1部40円・年間 1,500円(税、送料含む) 振替口座00110 8 47697 <http://www.zck.or.jp>

閑話休題

新世紀初頭にめでたく創立八十周年を迎えた全国町村会、その設立の端緒は、小学校教員俸給国庫負担の増額運動であった由である。

来年度からは新学習指導要領に基づく「ゆとり教育」が始まる。それに関して、学力低下、選択科目や総合学習、習熟度別の指導などをめぐる議論が盛んになった。

今回の改正は、高度経済成長と大都市化時代から、うっせきしてきた弊害の是正をはかる対策であろうが、そのモデルとなりえる事例は、むしろ郡部において早くから各地で実践されてきたように思われる。たとえば、昭和六十二年十月、福岡県久山町の新しい小学校を小早川町長



春のいぶき

のご案内で視察したさいに、それを実感したのである。

昨年の十一月には、三十二年の伝統を誇る鳥取県地域社会研究会主催の県下児童生徒たちによる地域研究発表会と地域地図作品展を見学して、この持論に自信がついた。

ゆとり教育のモデル

その発表会場は県立博物館、地図展は新設の市立歴史博物館。小学校の参加は六校、発表テーマは、「中山町のきた道行く道 市町村合併を考える」、「ナシ農家一〇〇軒に聞きました」など現代的課題が目立つ。とりわけ、智頭町立山郷小学五、六年生十二名による「伊能忠敬の測量した道 智頭街道の宿場町

と、そのさい展示された七枚の地図作品はすばらしい。すなわち伊能図と現代図、当時一行が歩いた所の特産物と郷土料理一覽、鳥取城下、河原、用瀬、智頭、野原、駒蹄の各宿場町と忠敬止宿地の復原図である。これらは「伊能ウォーク」のまさに学術版であり、その先駆的モデルとして今後各地で参考にされるであろう。

こうした児童生徒たちのフィールドワークは、地域おこし、福祉や環境行政などにも役立つにちがいない。とかく陰惨な例外的事件を執拗に報道するマスコミの眼を、逆に明るい創造的な教育活動にもっと向けさせたいものである。

(東京大学名誉教授 西川 治)

もくじ

活動	全国町村会と自由民主党との懇談会開催.....(2)
この町この村	三重県員弁町長を訪ねて.....(6)
随想	星糞の森に夢を託して.....長野県長門町長 北澤貞利.....(10)
情報	政策レーダー.....(11)

活 動

全国町村会と自由民主党との懇談会開催

全国町村会と自由民主党は二月二十日正午から、自由民主党本部において、本会役員と同党幹部による懇談会を開催した。

この懇談会は、地方分権や市町村合併など町村をとりまく行政課題や現下の政治経済情勢などについて意見交換を行うために開かれたものである。自民党・古賀幹事長、亀井政調会長及び本会正副会長のあいさつ・意見等の要旨は次のとおり。

なお、当日は衆議院本会議が急遽開かれることとなったことから、時間的制約がある中で意見交換となつたため、四月上旬に再度機会を設けて十分に意見交換を行うこととしている。

古賀幹事長あいさつ

全国町村会を代表する役員の皆様には何かとお忙しい中をこうして党本部にお越しいただき、私ども党三役及び関係役員とこのような意見交換の機会を持つことが出来たことを改めて厚く御礼申し上げます。

皆様方にはそれぞれのふるさとのまちづくりはもとより、地方分権推進の先頭に立っていただき、また町政の発展と民生の安寧のために日頃多大のご苦労、ご尽力を頂いていることに対しまして自民党を代表いたしまして衷心より敬意と御礼を申し上げます。

本日は限られた時間でありまので私のほうから長々と申し上げるより有意義な意見交換を中心に考えた方がよろしいのではないかと思いますので一言だけ申し上げます。

亀井政調会長あいさつ

日本を取り巻く状況は大変厳しく、アメリカの経済情勢も予想以上に減速をはじめしており、国内においても株価の低迷が続いております。それだけに十三年度予算は出来るだけ早く成立させなければなりません。また、経済界からの要請もあり、思い切った経済対策を行うことを与党三党で確認しており、予算との関連もある遅れることなく断行したいと思っております。これからのいる事業を進めるに当たっては地方にも協力をお願いしなければなりません。役人にまかしておくとは地方との間にいろいろ齟齬をきたすこともあるので、自民党が間に入つてうまくかみ合うようにしていきたいと考えています。

市町村合併についても一応の目標のようなものをたてて進めているがやはりある程度の目的をたてないと前に進まないわけで、何も画一的にやるうとしていくわけではありませぬ。合併によつてその地域の住民の生活がよくなることを願っているわけで、総務省の方にもその点はよく言っている。県レベルで相当無理な取り組みをしようとしているところもあるようですが、それはよくないと思っております。それによつて交付税を減らすなどということは絶対やってはいかんと言っているし、そ

今、我が国をとりまく政治、その中心にあります自由民主党につきまして何かと皆様にご心痛を煩わし、またいろいろの意味で叱声をいただく点多々ありますことに党を代表して心からおわび申し上げます。

しかしながら国会の方は予算委員会を中心として順調といえるかどうかは別として、ただ肅々と国会審議を進めさせていただいております。皆様方にご関心の深い十三年度予算は必ず年度内に成立させまして、皆様のご期待に是非とも応えてゆきたいと思っております。また、予算関連法案の審議も与党三党が結束して国会運営に当たつてまいります。ご叱声はご叱声として、しかしながら、しっかりとお支え頂き、またご後援を賜りますようお願い申し上げます。本日は本当にありがとうございました。



あいさつをする古賀自民党幹事長

自由民主党の出席幹部

幹事長	古賀 誠
総務会長	村岡 兼造
政務調査会長	亀井 静香
組織本部長	牧野 隆守
総務局長	鈴木 宗男
団体総局長	宮路 和明
総務部会長	荒井 広幸
地方自治関係団体委員長	嘉数 知賢

活 動

んな無奈なことはやらせません。それぞれの地域の人たちがいるんな点から判断して、本当によい市なり、よい町が出来たと思えるような市町村合併を進めていくことが大事だと考えています。ともすれば画一的に流れやすいことであり問題意識として申し上げましたので、皆様方のご理解と取り組み方をよろしくお願いいたします。

このほか、村岡総務会長、牧野組織本部長からも簡単な挨拶が行われた。(挨拶省略)

山本全国町村会長あいさつ

平素、自民党の先生方には町村会に對しまして種々ご支援をいただきありがとうございますことに對しまして御礼を申し上げます。また本日は、国会の開催中でご多忙の中にもかかわらず、私どもの意見を聞いていただく機会を設けて頂き誠にありがとうございます。心から御礼を申し上げます。

私どもの意見は、後程いろいろ申し上げますが、先程の総務会長の挨拶にもありました町村の現状と町村が担っている国家的役割について、皆さんはよく理解していただいているとは思いますが、まだまだ不十分ではないかと懸念しております。

ご承知のとおり、町村は国土面積の七割強を占めており、しかも食料、水、自然は町村が守っているところであり国家的役割を担っております。

す。いいかえますと町村は町村としての役割分担をし、都市も都市としての役割を分担して、お互いがうまく協調しあっているからいまの国の安定があるのだと思っております。ところが私も町村はそういう努力をしているにもかかわらず、過疎化と高齢化が進行し高齢化社会を形成してしまっており、このまま進んでいきますと加勢を失ってしまつて膠状化するしかないと心配しております。是非この点をご理解いただきますようお願いいたします。

また、私のひがみかもしれませんが最近自民党は町村の方を忘れて、都市集中の政策ばかりを打ち出されているような感じをもっております。町村が果たしている役割をよく見直していただき、町村自体がこれから十分に活動できるようにしていただきたい。高齢化社会を作るのではなく、町村というランドを作るのだというようにお考えいただければと思っております。

また、この際ですから一つ二つお願いしておきますが、まず、先生方の方でご検討いただいております被災者住宅再建支援制度についてであります。今までの話を聞いているところでは少し無理があるように思っています。地方に負担金として固定資産税に上乗せして徴収させるということのようですが、固定資産税と負担金というのはなじむものではありません。そういうことをすると住民の皆さんには重税感、増税感が出てきますのでそういう点をお考えいた

だきご検討願いたいと思います。折角先生方がそういうお考えで検討されているのなら、国で全額面倒を見たいというのが望ましいと思えます。是非ご検討をお願いいたします。次に有明海沿岸の海苔の問題であります。先般、古賀幹事長にはお忙しい中を現地まで出向いて視察していただき、いろいろな対策をお考えのようでありますが、これについては出来るだけ早く原因の究明を行いそして解明のうえ、出来ればお金を貸すのではなく、補助金か何かで海苔業者の方に渡るように、もう返さなくてもよいというような方法で何

らかの措置が出来ないものかと考えますので、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。この後私も役員の方から地方分権や交付税、市町村合併等々いろいろのお願いを申し上げますのでよろしくお願いいたします。

また、愛媛県水産高校のえひめ丸海難事故につきまして、愛媛県町村会長の宇都宮会長からお願ひすることにしており、いろいろ多くの要望があります。十分お聞きいただき、この会が実りあるものにしていただくようお願いいたします。私からのご挨拶とさせていただきます。

全国町村会の出席役員

- 会長 山本 文男(福岡県添田町長)
- 副会長 西田 耕豊(石川県川北町長)
- 理事 宇都宮象一(愛媛県宇和町長)
- 関根 重男(岩手県種市町長)
- 高橋 雄七(秋田県角館町長)
- 高橋 伝(福島県北塩原村長)
- 針ヶ谷照夫(群馬県板倉町長)
- 田中 隼人(山梨県増穂町長)
- 赤星 亮一(福井県今庄町長)
- 櫻井 泰次(静岡県河津町長)
- 塚田 武士(愛知県旭町長)
- 野中二三(京都府園部町長)
- 藤本 道生(岡山県和気町長)
- 江原 清(山口県白置町長)
- 野島 民雄(高知県香北町長)
- 松本 和夫(佐賀県北方町長)
- 富永 清次(熊本県菊陽町長)



あいさつをする山本全国町村会長

活 動

西田副会長発言要旨

副会長の西田でございます。私からは一点申し上げます。

まず、地方分権の推進について申し上げます。先生方ご承知のとおり、地方分権一括法で町村に移譲された事務権限はわずか七項目にすぎません。しかもこの七項目については、従来からやってきたものばかりであり、全住民に関わるものはほとんどありません。世の中には町村の事務能力を疑問視する向きもありますが、私も町村の多くは地方分権に対応できる十分な能力が備わっていると自負いたしております。

住民に身近な事務は住民に身近な市町村に出来るだけ移譲する方向で、ご指導頂きたいと存じます。

特に、今後まちづくりを進める上で基本となる土地利用については、町村は国土の七割を占めているにも



発言をする西田副会長

拘わらず、また、農用地利用計画も町村で作成しているにも関わらず、農地の移動等に係る権限は全て国と県が握っている状況であります。それぞれの地域の実情に沿ったまちづくりを進めるため、二ヘクタール以下の農地の転用許可権限など農林地の利用に関する権限の移譲を一層推進して頂きますようお願いいたします。

また、中央省庁の再編に伴い、許可の申請については、その内容により中央省庁と地方出先機関に分類して提出する仕組みになるように戻聞いたしておりますが、これでは地方分権に逆行することになります。

この際、地方出先機関の廃止も含めて町村の事務処理が煩雑にならないよう特段のご高配をお願い致します。

このほか、本年七月に期限切れとなります地方分権推進法につきましては、手つかずの財源問題、更なる権限の移譲、地方分権推進委員会の監視機能等の重要性にかんがみ、何らかの形で延長して頂きますようお願い申し上げます。

次に市町村合併について申し上げます。

現在国において進めようとしている市町村合併推進施策は、端的に申し上げて何のための合併か、その理念が欠けているように存じます。市町村合併を行うにあたっては、都道府県の在り方も含め、合併後どのような自治体が形成され、住民生活がどうなるのかなど、長期的な視野に立った理念が必要であります。昭和の大合併を振り返ると、中心部だけ

が栄え、周辺部は疲弊しているのが現状であります。このような現実の見直しもせず、また理念が不十分なまま合併を推進することは、現場の実態に目を背けたやり方と言わざるを得ません。

市町村合併は、地方自治の根幹に係る最重要事項でありますので、市町村自らが十分に時間をかけて検討した上で判断すべきことであり、本来、国や県が主導して行うべきことではないと存じます。

ただ、私も、合併そのものに反対しているわけではありません。条件が整えば、外部からの働きかけがなくとも町村は自主的な判断によつて合併は進んでいくと申し上げているのであります。このためにも、自主的の合併を行う地域の格差是正や懸念払拭のための行財政措置の更なる拡充を図るべきであると存じます。

以上二点申し上げましたが、先生方におかれましては、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮副会長発言要旨

副会長の宇都宮でございます。私も二点について申し上げます。

初めに、町村の税財源について申し上げます。

昨年来、地方交付税の見直し論が各方面で論議されておりますが、政府の審議会においては、一部委員が地方交付税を縮減すべきとの意見を声高に主張しているやに伺っております。財源に悩みながら、地域住民

の付託に応える施策の展開を期して日夜尽力しております私も町村長といたしましては、甚だ遺憾であります。国が枠組みを決め、市町村が下請け的に行っている事務事業も数多く、言わば、その必要経費を地方へ支払うべきことは当然であり、地方があげた収益が中央に本社がある故をもつて本社の収益に申告されていることを考慮すると、中央から地方へ還流することは当然のことであります。私も町村にとつて、かけがえない財源である地方交付税については、今後ともその制度を堅持して頂きますようお願いいたします。

先程、山本会長のあいさつの中にもありましたが、ご承知のとおり町村は国土面積の七割を占め、国土保全など重要な国家的役割を果たしております。先に林野庁が公表した森林の公益的機能の評価額は年間七十



発言をする宇都宮副会長

活 動

五兆円という大きさであります。しかしながら近年、木材価格の低迷や担い手の減少等により山は荒れ、私の隣のあの四万十川の清流も毎年悪化が懸念される状況にあります。

この際申し上げさせていただきますが、現行の地方交付税の算定において森林面積は補正係数として考慮をしているにすぎません。そこで、国土管理に果たしている町村の役割を十分考慮して頂き、たとえば森林、田畑面積等を普通交付税算定の指標とする等、国土保全対策に係る経費を一層充実して頂きますようお願いいたします。

また、将来的には国土保全に対する町村の支出をまかなうため、町村の面積等に応じた必要かつ十分な財政措置をお考え頂きたいと存じます。次に、介護保険制度について申し上げます。

介護保険制度の運営に関し、種々ご配慮を頂き感謝いたしているところでありますが、制度がスタートして一年、今なお解決すべき課題が山積いたしております。

特に、本年十月から保険料が現在の半額から通常の額になりますと、被保険者の関心度が高まり、様々な意見、要望が提起されてくると存じます。先生方におかれましては、制度の円滑な運営のための万全の措置を講じて頂くようお願いいたします。

この際、具体的に申し上げます。介護費用に係る国の負担につきましては、二五%とされており、調整交付金五%が含まれております。

ので、市町村によっては、実際には二十%ということになってしまっています。この場合、十七%とされている高齢者の保険料は二二%にまで上昇します。

今後それぞれの市町村は、さらに知恵を絞って工夫をこらして制度を運営していかねばなりません。そのためにも、国の負担金については二五%を確実に確保し、調整交付金五%は二五%外枠で設けていただきたいと存じます。

また、低所得者についての総合的な対策については、これまでもお願いいたしているところでありますが、保険料及び一割の利用料について減免措置を講じるとともに、同措置にかかる国、都道府県による財政補填制度を創設するなどの施策を講じていただきますようお願いいたします。

以上、二点について申し上げますが、先程、山本会長の挨拶にもありました愛媛県の水産高校の件であります。私は宇和島市の隣の町長であります。この件につきましては県民あげて遺憾の意を表し不安を感じているところであります。

その後、政府のついでにいただいた措置につきましては非常に感謝しておりますが、未だに九名の行方不明者がいるわけで、先般口ポット探査によって船体の確認がされたところであり、是非とも行方不明者の捜索を打ちきりせず今後も引き続いてやっていただくとともに、船体の引き上げにつきましてアメリカ

政府に強く要請をしていただくようよろしくお願いいたします。

古賀幹事長発言

時間もありませんので、私からは有明の海苔とえひめ丸の件につきまして一言申し上げておきます。これらにつきましては政府と党が一体となつて取り組み全力でバックアップしたい。皆さんの要請に答えられるよう全力を尽くしたいと考えております。

また、山本会長からお話のありました都市と町村の問題につきましては大変大事な問題であると思っております。都市部の様々な政策も大事であります。地方あつての我が国の国土であります。また二十世紀後半の繁栄と成長の中で、一極集中という負の遺産をどう解決していくかというところこそ我々政権政党に与えられた大きな課題であるということには十分に認識しております。そうした中で出てきた様々な政策につきまして私どもは政調を中心として全力を尽くして国民の付託に応えていくということではなからうかと思っております。総括的に一言だけつけ加えさせていただきます。

このあと、本会役員の野中理事から次のとおり発言が行われた。

野中理事発言

まず、農村問題についてであり、農地と山林の相続のあり方

について考えていただきたい。都市の人たちと同じような考え方は農地や山林を相続する人はいなくなってしまう。農山村の相続がしやすいようなシステムを考えてやらないと日本の農村は崩壊する。

もう一つは介護保険について、弱者である低所得対策は重要であり、矛盾を感じるのには所得はないが資産のたくさんある人がいる。こういう人たちが行政は所得がないということでも面倒を見るが、こういう人たちが死亡した後で都会にいる肉親たちが財産処分をして金だけ持っていくてしまうということが多々ある。真の意味での低所得者対策についても十分に検討してほしい。

さらに、障害者と養護施設の問題ですが、年金と措置費とのあり方を根本的に考え直さないと、障害者が貰う年金はほとんど家族の人が使ってしまった。障害者とか特養老人ホーム等については年金をそこに全部入れてしまうというような処理をしないと問題が残ると思っております。お願いしておきたい。

鈴木総務局長発言

ただいまの提言は大変重要な問題でありますので政調会長にも伝えて全力で取り組んでまいります。

次週の「町村週報」は休刊させていただきます。

次号は三月二十六日発行です。

この町この村

三重県*員弁町

生活と産業の基盤整備を進める

10期80歳の太田町長は元気一杯



【太田嘉明町長略歴】大正10年9月23日生◎昭和17年3月三重師範学校卒◎同年3月国民学校訓導◎同18年1月陸軍現役入隊（関東軍第7独立守備隊）◎同20年9月ソ連シベリア抑留◎同23年6月復員◎小学校教諭に復職◎同38年12月員弁町長に就任現在に至る（連続十期）

豊かな自然と古い歴史の町。一方では都市近郊という立地条件にも恵まれて、優れた企業の誘致に成功。従来の農業に加えて、豊かな発展をみせている。そうしたなかで、連続十期の太田町長は八十歳。若いころの苛酷なシベリア抑留を人生の原体験にすえて「心豊かにたくましく清新」な町づくりをめざして元気いっぱいである。

（聞きて・構成 山本兼太郎）
（エッセイスト）

「母は厳しい人でした」

山本 連続十期目ですが、初めて町長になられたのは昭和三十八年十二月、四十二歳です。選挙はこのときが初めてですか。

太田 いや、最初の選挙は四十歳のときで、落選しました。ところが、現職町長が亡くなり、そのあと私が四十二歳で当選したわけです。ここは選挙の厳しいところで、二期か三期やらせてもらえばよいくらいに思っていました。

山本 それが連続十期にもなりました。

太田 （笑）無我夢中でやっているうちに……早いものです。

【員弁町のあらまし】

…三重県の北部、員弁町（いなべぐん）のほぼ中央にある。国道四二一号を中心に、県道・町道の道路網が整備され、また近畿日本鉄道北勢線が町内を縦貫している。桑名市へは約一五キロで自動車で二五分、名古屋市へは四〇キロ、四日市市へは二〇キロと近接している。都市近郊の発展地域として、立地条件に恵まれている。

…特に近年はトヨタ自動車の関連会社など大手優良企業の誘致に成功して、地元の雇用促進、地域経済の発展に大いに貢献している。人口は八、七七六人（平成七年）、高齢化率一六・七％、住民の所得指数は全国平均を一〇〇として一〇二・六と高い。

…町名である員弁（いなべ）という名前の由来は古い。一、三〇〇年前（七〇一年）に大宝律令が制定され、国や郡が整備されたさいに、古代の大豪族である物部（ものべ）氏の系統の「猪名部族」が居住していたところから、郡名を、猪名部と呼ばれた。…その後、和銅六年（七一三年）に員弁（いなべ）と書き改められるようになり、昭和十六年（一九四一年）に合併して町制を施行して「員弁町」となって現在に至っている。

この町この村



【いなべ公園】員弁町の将来を決定づける基本構想の一環としてつくられたもので、平成七年に完成。見渡す限りの緑と清らかな水の公園である。児童福祉・観光・文化などの目的もあつて21世紀の員弁町の姿を象徴的に示している。五重の塔型のシンボルタワーは、ふるさと創生事業の一つとして建設されたもので、展望台もかね、住民の誇りとなっている。

山本 家業は農業ですね。

太田 親父は農業をやりながら、役場の職員、それから、合併前の村長もしていました。戦後は一期半村長をやつて、六十歳すぎに、現職で亡くなりました。

山本 父親はどのような方でしたか。

太田 平凡といえば平凡な人やつた。ところが母親は子供思いだつたが厳しい人でした。勉強も大事やが、もっと大事なのは体や、体さえ頑丈なら、肉体労働でもなんでもして生きていける。いつも厳しくいっていました。

山本 最近はそのなことをいう母親はもういなくなりましたなあ。

太田 そうや。わしがシベリヤに抑留されても、体が頑丈でびくともしなかつたのは、母親のおかげですわ。信仰の厚い人で、おまえはトリ歳生れや、トリ歳の守り本尊は不動尊やといわれました。それで地元の不動尊にもお参りしますが、千葉県成田の不動尊には毎年、東京へ行った帰りには必ずたちよつてお参りし、近くの佐倉宗五郎の墓所にもお参りをかか

山本 ははあ、佐倉宗五郎ですか。

太田 そうや、悪税に苦しむ村民のために、総代になって江戸へ出て行って將軍に直訴する。その

ために捕らえられて、妻子ともども磔にされた、あの宗吾や。村民のために自分の命を投げ出した男や。尊敬しています。

抑留体験が原点

山本 昭和十七年に三重師範学校を卒業されて、しばらく教職についておられて、軍隊ですね。復員のときは陸軍大尉。

太田 現役入隊で、関東軍のソ満国境の第七独立守備隊です。戦後はソ連のシベリヤで三年四カ月の抑留生活で、二十三年六月に復員してきました。

山本 収容所では責任者に選ばれて、一種の民主的な集団社会をおつくりになって、無事に帰国にまでもつてこられたそうですね。

太田 シベリヤの抑留生活は、一日一日が命がけといった厳しい生活環境やつた。そうしたなかで、一般の兵隊の間に、ソ連当局のやり方や日本側の幹部に対する不満がしだいにのつて、爆発寸前という不穏な空気になったんやが、選挙によって、私が大隊長に選ばれてしまったんですわ。

山本 大変厳しい状況の中で選ばれたんですね。一歩間違えば命にかかわる。

太田 そうや。実際になにをやつたかを、ごくかいつまんで言いますと、①ノルマの検討と研究、②給与規定の完全実施、③作業計

この町この村

画を自主的に実践する、④警戒兵の廃止など 抑留されている者にとっては深刻な問題はかりですわ。

山本 平成十二年四月に「第四六回菊池寛賞」をもらった「捕虜体験記」という書物では、いまおっしゃったようなことを太田さんが「一四六収容所の体験」として執筆されているそうですね。

太田 ええ、そうです。

山本 そのときの苛酷な体験が、その後の太田さんの生き方の原点になっている。

太田 困難にぶつかるたびにあの時の苦労に比べれば……と思うと、この年になっても気持ちがいいるいただきますわ。

町の将来像を広報紙に

山本 昭和三十八年十二月初当選。まず最初におやりになったことはなんでしょうか。

太田 町長になって初めての広報紙に町の将来の姿を描いた地図をのせたんですわ。これは住宅地域、ここはレクリエーション地域、これが工場地帯だと、将来の姿を示して、住民に協力してほしいと訴えました。

山本 ほほう、現在の町の姿を比べてどうですか。理想どおりっていますか。

太田 ありがたいことに大体うまくいっています。例えば当時、環境保全地域に指定したところ

を、後に公園化して住民の憩いの場に。ここだけは孫子の代までも残さなアカン などいろいろやりました。

山本 計画を広報紙に発表されると大変だったでしょう。土地の買い占めとか、ブローカーが入ってきたりで……。

太田 そりやありましたよ。例えば、さきの公園なんか、発表はしたけれども、これを買っておく金が町にはない。そこへいろんな人間がやってきて苦労しました。それこそ命をはってやらんかったら、いろんな人の手に渡ってしまっていたらと公園へ行くたびに思います。

山本 そりが難しい。

太田 私が連続十期に当選したとき、報道の人がいろいろ取材にやってきて、「あまり長く首長をやっていると、汚職になりやすいのではないか」とよく言われました。そこで私は「汚職をやる人間はたつた一年でもやりよる。汚職をしない者は百年首長をしていてもしないものだ」と言いましたらそれつきりでした。これも、自分についている暗いところがないので、堂々といえるわけや。

企業誘致に成功

山本 その連続十期ですが、選挙をおやりになったのは何回ですか。

太田 無投票が五回、選挙が五回ですわ。

山本 選挙の厳しい土地柄で、十期もつづけられたのは、なにか特別なわけでも……。

太田 いやいや、特別なことはなにもしていません。ただ、シベリヤから復員してみると、故郷は少しも変わっていない。財政的にもたいへん貧しい町でした。しかし、住民には肩身のせまい思いをさせではならん、というのが基本的な考えでした。

山本 それだけですか？

太田 私は三年以上もシベリヤに抑留されていて、酷しい条件のなかで民主化の改革をしたりもしましたが、これには誰にも負けない体力があつたからです。母のおかげですわ。八十歳のいまでも、病氣らしいものはしたことはありません。そこで、町長になってから、十期当選するまで、三十六年間も助役を置かず、全部一人でやってきました。

山本 ほほう、それはどういうわけ……。

太田 考えてみると、助役の給料は私の次に高い。その分も私がやれば、助役一人分の給料が浮く。さつきもいうように、私には三人分をこなす体力も自信もあります。助役一人分の給料を節約すれば、各集落ごとに道の一本もよけいにする。そこまで細かく考え

てやってきたんや。普通の人が一歩足を運ぶところを、私は十回も運んでやるという心構えで、自分の年齢のことも、何期かというところも忘れてやってきました。

山本 現在は助役さんがいらっしやいます。

太田 もうそろそろ後のことも考えんな。(笑)

山本 資料を見せてもらいますと、歳入では町税が四六%、地方交付税が一六%となっていますね。それに、住民所得も全国平均よりも多い。

太田 昔は貧しかったんですわ。貧しい農家のこというのに「五反百姓」という言葉がありますが、五反どころか平均四反ぐらいやつた。

山本 それがどうして、こんなによくまりましたか。

太田 要するに、農家は自分の飯米だけをつくって、あとはよそで働いて兼業農家で生きるしかないと考えました。農業は決して手離すことはできません。もし、万一のことがあつた場合に、まず必要なのは食糧の確保です。住民が農業の現状をなんとか維持しながら、一方では、もう一つ働く場を得なければならぬ。そこで、工場の誘致には本当に一生懸命になりました。いろんな企業にも来てもらいましたが、トヨタ自動車に来てもらつたことに成功したんで

この町この村

す。住民がそう無理をせずに通勤できるところに、働く場ができたんです。

山本 ここまでくるのに、どのくらいかかりましたか。

太田 無我夢中でやっているうちに、五期、六期はすぐたつてしまします。努力もしましたが、立地条件もよかつたし、高度経済成長の波にうまく乗ることができたということもあります。

「良いものは長く使える」

山本 このようにやってこられて、十期目も選挙でしたが、競争相手の方からどのよういわれましたか。

太田 それはもう「長いからあかん、年寄りやからだめ」の一点張りですわ。しかし、生年月日の年齢だけで、年寄りやいわれても困りますわ。人はそれぞれ健康の状態で違います。たびたびいうように、若いころから病気がしいものは、したことがないんです。東京の役所へ陳情に行っても、役場の若い職員は、ワシのあとにようついで来れんのや。ふらふらしよる。ワシの方が先にたびれて、君らのあとを、ついて歩くようになったときは、ワシも引退やとそないに言っているんです。

(笑)

山本 それで、七十九歳の十選目は、どんな選挙になりましたか。

太田 まず後援会長に「良いものは長く使える。悪いものはすぐだめになる」というたんです。そしたら後援会長は「町長のようなほんものは、いつまでも立派に使えます。ダメなものはすぐダメになる」というて歩いたんですわ。

山本 なるほど。

太田 そこでワシは地下たびに作業服を着て、軍隊時代に使っていた図囊(ずぶ)(注：地図などを入れて肩にかけるカバン)にパンフレットをいっぱい詰め込んで、町内を歩き回ったんや。

山本 反響はいかがでしたか。

太田 ワシの姿を見て、年寄りたちは喜んでくれましたなあ。「死ぬまで元気でやれ」いうてくれました。ところが、若い者にはさっぱりや。作業服に地下たび姿を見て、「町長たか百姓仕事をしている人なのか、さっぱりわからん」という。息子の嫁も、そんな姿じゃ農作業しとるとしか思えん」というし、役場の職員にも聞いてみると、「地下たびよりも運動靴がよい、やはり背広は着て歩いたほうがよい。」という。そこで初めて、ああそういうものかなあ、と思いましたよ。

山本 それで、成績の方はいかがでしたか。

太田 それがねえ。人件費をなんとか減らさあかんということ、女子の嘱託職員を十人あまり

辞めてもろうた。それが選挙の前ですわ。それやこれやで、相手との差が二七二票しかなかった。(笑)

七十一歳で運転免許

山本 若い人はやはり町長さんといえば、サッカーが好きで、ゴルフが趣味で、立派な背広を着て……ということになるんでしょかね。

太田 そのサッカーやが。師範学校の学生時代に、サッカーで身体を鍛えたもんや。こう見えても、戦前の国体にサッカー選手として出場して、明治神宮外苑の競技場をやったんでっせ。

山本 戦前はたしか「蹴球」といってました。

太田 そうや、その「蹴球」や。この話を聞いた住民の中には、町長はシベリヤ抑留の話ばかりでなくて、サッカーの選手やったことをなげもつと早くいわんのか、選挙で五百票は損しているぞ、といわれましてわ。(笑)

山本 お元気なのは驚きました。八十歳でいまでもクルマを運転されるそうですわ。

太田 ええ、どこへでも運転して出かけています。七十一歳のとき免許をとりまして。

山本 えっ、七十一歳で……。

太田 町長になってから免許をとろうと思っていたが、忙しくて……それが七十一歳のとき、「免

許をとるぞう」というたら、役場の職員がいつせいに「年齢分だけお金がかかりまっせ。七〇万円だっせ」という。七〇万円もかかると困るなあ、と思っていたが、半分の三五万円がよかつた。「ほうどうや」と役場の連中に、免許証をひらひらさせて見せびらかしてやったよ。(笑)孫にまで自慢してやった。(笑)

山本 自動車の教習所でも驚いたでしようなあ。

太田 意見が二つに分かれたそや。七十一歳の老人には無理や、やめるようにいうた方がよいが半分、あの町長なら本気でやりよるぞという方が半分。ところが、実際にやってみたら、四〇歳代の能力だとほめられましたわ。

山本 うーん。ところでこの町の特徴はなんでしょうか。

太田 そうやな……なんというか、特徴のないのが特徴やなアツハハ。

山本 町長さんは学生のころはサッカーの選手、陸軍大尉で、シベリヤ抑留中は改革運動を成功させる。七十一歳で自動車の免許をとり、九選までは助役をおかない。そして七十九歳で連続一〇選の間、病氣らしいものはしたことがない。こんな町長さんの方が一番の特徴では……。

太田 アツハハ……そんなことになりまっせ。(笑)

随 想

星糞の森に夢を託して



野 長 利
と 門 貞
長 北 澤

随 想

「ほしくそ」とは、石器の材料として使われた黒耀石の俗称である。

土地の者は、このキラキラ光る黒い石を、遠い星空の彼方から降ってきた不思議な石と信じ、野良仕事の合間に手にした石を眺め、親しみをこめてその名を言い伝えてきた。小さな峠の名もまた星糞峠である。

下品だと言う人も居る。いや、素朴で豊かな表現が良いとも言いつつ、この呼名から当時の豊かな人間性が偲ばれる。

この星糞峠については、その実態は長いこと謎に包まれ、数万年ともいわれる気の遠くなるような時代を経て、江戸時代には幕府直轄の御巢鷹山として、鷹狩に使つた雛鳥を育てる山として保護され、村人の立入りは厳しく監視されていた。その保護区の面積は五〇三ヘクタールで、立木は一萬二千六百六十一本と記されている。

その後、明治期には国有林として造林が行われ、入山規制は村人の自由な入山を拒み続け、一般の立入りが可能となったのは、戦後の入植者による開拓の手が入ったからのことである。

遺跡として注目されるようになったのは、地元の考古学研究者児玉司農武氏によってであったが、本格的な遺跡調査は、町が計画したスキー場建設にあたっての明治大学考古学研究室の手によるものである。

一九八四年以来続けられた調査成果は、我々の想像を超えた地域像を認識させるものであった。悠久の眠りから人の手によって拓かれたこの原野の遙か数万年前にさかのぼる旧石器時代、ここから採掘された黒耀石は、その場で加工されたり、原石のまま持ち出され県下、あるいは遠く関東地方の縄文時代集落まで流通し、石鏃や槍ぞしてナイフに加工されていたと言つ。

更に驚くべきことは、星糞峠から虫倉山の稜線にかけて広がる原生林一帯に散在する百九十五基に及ぶクレーター状の凹地は、「黒耀石採掘鉱山」であり、痕跡に散らばっているキラキラ輝く星糞は、彼らの手による黒耀石の割屑だと言つ。

どんな時代にどんな自然環境の状況でどんなロマンが展開されたであろうか。いまこの土地は町有林として国から譲り受け、新たな遺跡の調査を待つて静かな森の中に行んでいる。かつてこの地は、黒耀石を求めて多くの人達が往来を繰り返してきた黒耀石のメッカであった。当時の環境や自然条件のもとで、どのような人達が、どこから、どこへ、どんなルートを通り運ばれて行ったので

あるうか、人から人へ、手から手へ、その広がりには又情報文化の広がりでもある。

星空の彼方から降ってきたと言われる黒耀石の秘めるロマンを知ることのできるのはほんの一握りに過ぎない。

いま鷹山では、明治大学附属施設として黒耀石研究センターの建設が進められ、そのルーツを解き明かす手掛かりが出来た。町でも遺跡の保存活用と、かつて鷹が巣立つた縄文の森創りに取り組んでいる。

二十一世紀星糞の森が私達にどんなメッセージを贈ってくれるのだろうか。

尽きぬ星糞の森に夢を託して、新世紀のスタートとしたい。



情 報

政策リーダー

政策リーダー

被保険者証カード化で一人一枚に
― 厚生労働省 ―

厚生労働省は二月十四日、健康保険法施行規則等の一部を改正する省令を公布した。

被保険者等の利便性の向上等を図るため、医療保険の被保険者証について被保険者及び被扶養者毎にカード様式の被保険者証を交付するもので、平成十三年度より準備の整った被保険者から順次実施することとしている。

改正内容をみると、同様式について、①一人一枚のカード様式とする、ただし、被保険者証の更新時期、保険者の財政状況等を考慮し、当分の間、現行様式(世帯単位での交付)との併存を認める、②カードの材質は限定しないが、ある程度耐久性を持つもの(紙も可)を基本とし、表面に氏名、生年月日、被保険者証の記号番号等を記載する、③高機能ICカードについては、費用対効果等を総合的に勘案しつつ、被保険者証の円滑な交付等国保の円滑・安定的な運営を損なわないよう、保険者の判断で採用できる、④修学者及び遠隔地居住の被保険者の特例被保険証については廃止する、⑤退職者医療制度等の適用により、個人負担を減じている場合はカード表面に一部負担金割合を表示する等を挙げている。

また、資格証明書については、従前のサイズで一人一枚交付することとし、保険料(税)の滞納が生じた場合は、世帯主に対し、同一世帯に属する全ての被保険者証の返還を求めることとなる。

郵政官署事務取り扱い法案まとめる
― 総務省 ―

総務省は、この度「地方公共団体の特定の事務の郵政官署における取り扱いに関する法案」を取りまとめ、三月九日、閣議決定された。

これは、住民の利便の増進を図るとともに、地方公共団体の組織及び運営の合理化に資するため、住民票の写しの交付等の事務を郵便局において取り扱うことが出来るようにするための手続等所用の法整備を行うもの。

これによると、地方公共団体は、郵政事業庁長官と協議して規約を伴うことで、郵便局が①戸籍謄抄本等②納税証明書③外国人登録原票の写し及び外国人登録原票記載事項証明書④住民票の写し及び住民票記載事項証明書⑤戸籍の附票の写し⑥印鑑登録証明書の交付事務を代行できるとしている。なお、協議については、地方公共団体の議会の議決を経るものとしている。

また、上記事務の適正な執行確保のための措置として、地方公共団体の長が必要と認める場合の指示等をあげている。

なお、①公営バス回数券の販売、公の施設の利用申請の取次等(窓口におけるサービス)②高齢者等への立ち寄り・声かけや日用品の配達、図書館の図書配送・返送等(外務員によるサービス)についても、地方公共団体から委託を受け、郵便局で取り扱うことが出来るよう、総務省設置法の改正等規定の整備を行うこととしている。

花粉の少ないスギ開発・配布

林野庁・林木育種センターは、十年前から関東とその近県で、スギの雄花の着生量調査を行ってきたが、このほど、花粉の少ない四十二品種を開発・公表した。社会問題となっている花粉症の森林・林業面からの対応策として取り組んできたもので、平成九年にも十五品種を公表している。

環境が同じ地域の林木のうちで、同種、同齢のものに比べて成長等の優れている精英樹の中から、雄花をほとんど着けないものを見つけたことで、花粉の少ないスギを選び出している。これらの品種の花粉生産量は、一般のスギに比べ一%以下となつている。センターは、花粉の少ない特徴がそのまま受け継がれるように、挿し木の改良やバイオ技術の開発に力を注いでいる。

今回の品種開発対象地域は、関東八都県と福島、長野、岐阜、静岡、愛知の五県で、今春からこれらの希望する県に、採種園・採種園造成用に必要な挿し木・接ぎ木用の穂木を配布することとしている。

また、林野庁は十三年度から、新たに、①今までの関東地域での調査をもとに、花粉生産量を予測する技術の全国への普及、②花粉生産を抑制する森林施業技術の確立、③全国の都市周辺のスギ林を対象に、特に花粉生産量の多い森林を特定して地理情報化し、花粉飛散予測や間伐、樹種転換等対処施策のための情報提供に取り組みとしている。

都心に生まれたゆとりとやすらぎの空間

くつろぎを最優先にこだわった客室

(室料)
シングル 131室 8,500円より
ツイン 18室 16,000円より
 8~16F (2名)

客室は広めでシングル18㎡ 羽毛寝具により心地よい睡眠に配慮いたしております。すべての客室は快適な7階以上の上層階に配され、リラックスしていただくための静かな空間を作り上げました。



シングル

官庁街に近く、最適なロケーションを誇る 全国町村会館。
 一流ホテル(帝国ホテルグループ)との提携による上質なサービスと、味わい豊かな料理、ゆとりのある客室で皆様をおもてなしいたします。



東京での週末・祝日のご利用に特別サービス

特別サービスとして

1 宿泊料金を最大20%割引いたします。

(各行事の際に、町村より一括してご宿泊をお申し込みいただいた場合は、すべて会員の特別料金を適用いたします。)

2 地元よりの特産品など、持ち込みは自由です。ご希望により調理もいたします。

ご宴会などのお料理は、ご希望とご予算に応じ、洋食・和食のいずれもご用意いたします。



ホール

- 在京出身者の集いなど 町村主催の各種行事
- 自治大学校などの交友会
- 職員旅行・家族旅行
- 小・中学校の東京での行事参加

東京観光の拠点に最適

土・日・祝日ご宿泊<特別料金>(室料)

シングルA 6,800円(通常料金 8,500円)

ツインA 12,800円(通常料金16,000円)

金曜のご宿泊は通常料金の15%OFFにてご利用いただけます。

東京観光地へのアクセスガイド

- 東京ディズニーランド / 地下鉄永田町駅からJR舞浜駅まで約34分
- 浅草 / 地下鉄赤坂見附駅から浅草駅まで約27分
- 東京タワー / 地下鉄永田町駅から御成門駅まで約25分
- 後楽園遊園地 / 地下鉄永田町駅から後楽園駅まで約10分
- 東京都庁展望室 / 地下鉄赤坂見附駅から新宿駅まで約10分



交通の便利なロケーションで、多勢の人にお集りいただくパーティーなどに最適です。また大小4つのホール・会議室があり幅広い用途にお使いいただけます



[交通案内]

- 有楽町線・半蔵門線・南北線 「永田町駅」3番出口徒歩1分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分
- タクシー 東京駅から約20分

[宿泊利用助成券契約市町村職員共済組合等一覧]北海道市町村職員福祉協会・青森県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県市町村職員互助会・島根県・鳥根県市町村職員年金者連盟・岡山県・広島県・山口県・高知県・福岡県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県・地方職員共済組合(団体共済部)

ご予約・お問い合わせは **全国町村会館**

TEL:03(3581)0471 FAX:03(3581)0220
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号